

議題1

各部会での協議の報告等について

◆今年度の会議の開催状況

- ・平成22年6月10日 第1回仁淀川清流保全推進協議会 開催

<主な議題> ・会長・副会長の選任

・推進体制の確認(全体会・5つの部会で構成する)

・「仁淀川一斉清掃の日の制定」から取り組んでいくことの確認

- ・平成22年7月26日 第1回 上流域部会開催

- ・ " 7月27日 " 上八川川流域部会開催

- ・ " 8月 3日 " 中流域部会開催

- ・ " 8月13日 " 下流域部会開催

- ・ " 8月17日 " 河口域部会開催

<主な議題> ・部会長の選任

・仁淀川一斉清掃の日の制定について意見交換 など

- ・平成22年10月22日 第2回河口域部会開催

- ・ " 10月25日 " 中流域部会開催

- ・ " 10月25日 " 下流域部会開催

- ・ " 11月 9日 " 上流域部会開催

- ・ " 11月17日 " 上八川川流域部会開催

<主な議題> ・仁淀川一斉清掃の実施日の検討

・高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用した取組みの確認

・仁淀川での清流保全活動やイベントの情報共有・発信に向けた体制の確立 など

(1)新たな取組みの実践

① 仁淀川一斉清掃の日の制定について

◆一斉清掃の時期について(部会で出された意見)

- ・10月半ばの土・日
- ・10月に下流域でラブリバーパートナーシップの清掃が実施されているので、この日を流域全体の一斉清掃の日としてはどうか。
- ・年2回、雨季の前後(5月と10月)に実施してはどうか。
- ・川遊びのシーズン前の5月に実施してはどうか。
- ・5月には仁淀川町の土居川ほかで一斉清掃(仁淀川の緑と清流を再生する会主催)があることや、7月には下流域で一斉清掃(国土交通省主催)があるため、10月がいいのではないか。

本日の協議会で承認していただきたい事項

◆一斉清掃の実施時期を次のとおりとする。<各部会で合意済み>

- ・毎年、10月24日前後の土曜日とする。※10月、24日、(土)・・・「によど」の語呂合わせとしても適当。
- ・下流域のラブリバーパートナーシップが毎年10月に実施されていることから、流域全体で、この日を一斉清掃の日として定めて清掃を実施する。
- ・一斉清掃の実施に関しては、来年度、県環境共生課、仁淀川清流保全推進協議会、仁淀川流域交流会議(市町村)、県土木事務所、国交省等、関係者で実施方法を協議していくこととする。
- ・清掃の経費をアサヒビール(株)の寄付金を活用。

今年の10月24日前後の土曜日は
・・・1日、8日、15日、22日、29日

今後の検討事項

◆一斉清掃の実施方法等について

- ・一斉清掃の場所は、各部会ごとに検討して決定する。
（1箇所ないし2箇所で実施）
- ・仁淀川流域交流会議・各市町村の環境担当課の協力。
- ・国交省、県土木事務所にも、収集運搬など可能な範囲で協力。
- ・その他
 - ・清掃のほかに何か楽しいイベントを組み合わせて、親子を対象に半日ぐらい川で時間を過ごせるような内容とする。
 - ・農業用のビニール袋などのゴミが多いので、農業関係者への参加の啓発に取り組む
 - ・一斉清掃の際にはマスコミにも呼びかけて仁淀川のPRをしてもらう。
 - ・カヌークラブの協力により、カヌーに乗りながら川の中から水辺林を見てどんなゴミがあるか調べる。
 - ・河口のゴミを上流の人が、上流のゴミを河口の人が実際に見て、清掃を行うなど交流を図る。

② 高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金を活用した取組み

今年度は、次の3つの事業が補助金の採択を受け、住民・団体が主体となって仁淀川清流保全計画の実践活動が行われています。

(I) エコプロジェクト2010in仁淀川 ～仁淀川はみんなの宝～

主催: によど自然素材等活用研究会(代表 井上 光夫氏: 上流域部会部会長)

・第1弾: 仁淀川に親しむプロジェクト → 越知町黒瀬キャンプ場での水生生物調査・カヌー教室

日時: 平成22年9月25日(土)

・第2弾: 仁淀川を考えるプロジェクト → 仁淀高校(H22年度閉校)が実施している水質調査・水生生物調査の仁淀中学校への継承

日時: 平成22年10月7日(木)、平成23年1月20日(木)

・第3弾: 仁淀川を守るプロジェクト → 仁淀川河口ゴミ拾い・ゴミ調査

日時: 平成22年10月16日(土)



3つのプロジェクトの発表、基調講演、仁淀川メッセージ、パネルディスカッションなど

「仁淀川シンポジウム2010」開催

日時: 平成23年2月6日(日)13時～ 場所: かんぽの宿

◆「仁淀川シンポジウム2010」について

主催 によど自然素材等活用研究会

後援 国土交通省、高知県、仁淀川流域交流会議、仁淀川漁協、高知新聞、RKC高知放送

内容 ・3プロジェクト活動報告と提案

・基調講演・・・・・・・・たかはし河川生物調査事務所 高橋勇夫氏

テーマ「のこしたい。きれいな川と天然アユ」

～仁淀川のアユの気持ち、私たちにできること～

・仁淀川メッセージ・・・・団体、個人の方から、仁淀川の清流保全のために伝えたいこと、言いたいことを発表してもらう。(1人3分～5分)

・パネディスカッション・・・・テーマ「川の賑わいと安心して川ガキを育てよう」

・「仁淀川・環境の日」宣言

・・・・毎年10月24日前後の土曜日を「仁淀川・環境の日」として、毎年、仁淀川一斉清掃を実施することを、石川会長に宣言してもらう。

本日の協議会で承認していただきたい事項

◆来年度以降のシンポジウムの継続について

・年に1度、流域の団体同士の情報交流の場や、清流保全計画の実施状況等を報告する場として、シンポジウムを継続して実施していく。

・本年度(H22)は県補助金を活用して、によど自然素材等活用研究会が実施。

→ 県補助金の活用は1回が原則。

・来年度(H23)からは、仁淀川清流保全推進協議会と仁淀川流域交流会議が共催で実施。

→ アサヒビール株の寄付金の活用

（Ⅱ）守ろう仁淀川！エコカーニバルin土佐市 〈服のリサイクル×仁淀川清流保全〉

服のリサイクル活動と仁淀川の清流保全を組み合わせた環境保全イベントが、「エコネコの会」の主催により開催されます。



※「エコネコの会」とは

地球温暖化防止や清流保全のため、事業者や各種団体などがネットワークを構築し、県民一人ひとりに環境保全への関心を高めてもらうための活動を企画・提案・実施していく為に結成した団体。

・エコネコメンバー・・・(株)暮らしの情報社、によど自然素材等活用研究会、高知大学環境サークルESWIQ、(株)サンプラザ、土佐電気鉄道(株)、高知自動車学校、積和建設四国(株)高知支店)

「エコネコの会」の活動の第1弾として、回収した服(着なくなった服)のリサイクル販売や、参加団体が実施している環境保全活動のPRなどのイベントを開催し、服のリサイクル販売による売上金は、仁淀川清流保全計画の実践に活用することとする。

今回のイベントは、リサイクル活動で創出した資金を仁淀川清流保全活動に活用することで、自分たちにも参加できるエコ活動があることに気づいてもらう住民参加型のイベント。

主催：エコネコの会(事務局：暮らしの情報社 名取弘史)

日時：平成23年2月20日(日) 10時～15時

場所：土佐市「ホームセンターリッチ土佐店」西隣駐車場

内容：服のリサイクル販売、仁淀川清流保全PR、エココンサート、地場産品販売、参加団体エコ教室・エコ活動PR など

(Ⅲ) 仁淀川神楽と鮎と酒に酔う

主催:仁淀川神楽と鮎と酒に酔う2010実行委員会(事務局:いの町観光協会)

日時:平成22年9月25日(土)

場所:いの町 仁淀川波川公園

内容:神楽の鑑賞や鮎の火振り漁に加えて、

- ・仁淀川漁業協同組合の協力による、仁淀川の現状を伝える写真・パネルの展示
- ・波川まちづくり委員会の皆さんの協力による、竹林を伐採し竹灯りの製作とリサイクル
- ・イベント翌日に会場周辺の清掃活動



③ 流域の情報共有・発信の仕組みづくりについて

◆仁淀川の清流保全活動やイベント情報を、事務局(環境共生課)で集約し、流域全体へ情報発信する体制を整える。

- ・各市町村環境部署において、別添の様式により、各流域での取組み(清流保全活動、イベント等)をとりまとめ、事務局(環境共生課)へ送付。
- ・事務局で各流域の取組みを一覧表にして、HP掲載等により情報発信。
- ・事務局より流域市町村へメール送信し、市町村内でのHP掲載や広報誌で情報発信し、部会員への情報提供を行う。
- ・部会員の皆さんにも、地域住民の方への情報発信を行っていただく。
(個別のイベントのチラシ等についても、同様の方法で情報提供していく)

※情報の流れ

各市町村環境部署 → 事務局(環境共生課)で取りまとめ → 各市町村環境部署
→ 全体会・部会員 → 地元住民

◆現在、事務局(環境共生課)のホームページに、仁淀川の清流保全活動・イベントのページを作成済み。(別添のとおり作成)

(2) 今後の課題・対策等

来年度の協議会として、どのようなことから取組んでいくのか。
各部会が出された主な意見は次のとおり。

<上流域部会>

大雨時・ダム放流時の安全対策(サイレンの周知徹底、注意喚起)

- ・キャンプ場や、河原への入り口など、各ポイントで放流時の増水を表す看板などが設置されている。ダム放流時にはサイレンが鳴っている。
 - 地区外から遊びに来ている人は、サイレンなど気づかない人がいる。
- ・上流での雨量の情報を、下流の人にすぐに伝わるシステム作り。
- ・子どもたちが急な水位の上昇時に事故にあわないよう、安全教育の場の提供。

<中流域部会>

- ・子どもたちを川で遊ばすためには、母親が子どもを連れてきやすい環境づくりが必要(河原やキャンプ場へのトイレの整備など)
- ・坂折川(越知町)の現状調査、桐見ダムの影響
- ・河原へのヨシの大量繁殖

<上八川川流域部会>

- ・親が子どもを川へ連れてきやすいように、キャンプ場へのトイレの整備(トイレが無いキャンプ場がある)
- ・河原へのヨシの大量繁殖
- ・桜(エドヒガン、山桜など)の植樹

<下流域部会>

- ・夏場は、いの町波川の河原では大勢の人でにぎわっている。遊びに来た人が仁淀川の良さを持って帰って、宣伝してもらうため、波川の河原に、川の駅など仁淀川の情報発信ができる施設が欲しい。
- ・川遊びの娯楽、河原の広さ、石の豊富さ、水文化など、仁淀川の様々な特徴を全面的に捉えて発信できるような施設を波川へ整備できないか。
- ・流域の横のつながりと連携で仁淀川の良さをPRしていく。マスコミへのPRが足りない。
- ・波川の河原は、海水浴場より利用率が高い。→「川水浴場」
- ・監視員など安全面を指導する人の配置、トイレの整備。(今は道路へ上がったところにトイレがある)

<河口域部会>

- ・ラブリバーパートナーシップが実施している一斉清掃を、上流へも広めていきたい。
- ・一斉清掃の際には、親子が楽しめる行事を組み合わせ親子で川で楽しめるような内容で実施する。
- ・一斉清掃の際には、河川管理者の協力が不可欠。

【意見交換】

議題2

今後のスケジュール

今後のスケジュール(予定)

- ◆平成23年4月
 - ・協議会(全体会)の開催
本年度の新たな取組みの決定

- ◆ // 5月～9月
 - ・各部会を適宜開催
一斉清掃の準備、新たな取組みの実施など
 - ・協議会(全体会)の開催
一斉清掃の最終確認、新たな取組みの進行状況の確認
など

- // 10月
 - ・仁淀川一斉清掃

- ◆ // 11月～12月
 - ・各部会の開催
仁淀川シンポジウムの準備、新たな取組みの実施

- ◆平成24年 1月
 - ・協議会(全体会)の開催
仁淀川シンポジウムの最終確認
新たな取組みの進行状況の確認など

- ◆ // 2月
 - ・仁淀川シンポジウム

議題3

その他(情報交換など)

- ・委員の皆さまの日ごろの活動報告など